

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成22年3月11日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172902132		
法人名	医療法人 臨生会		
事業所名	グループホーム そよかぜ館アネックス		
所在地	北海道名寄市緑丘11-23 (電話) 01654-9-6200		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年3月10日	評価確定日	平成22年3月16日

## 【情報提供票より】(平成22年2月19日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	15人	常勤	15人, 非常勤 人, 常勤換算 9人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,000円	その他の経費(月額)	7,000~11,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200円	昼食	250円
	夕食	350円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(2月19日現在)

利用者人数	18名	男性	6名	女性	12名
要介護1	2名	要介護2	8名		
要介護3	5名	要介護4	3名		
要介護5	要支援2				
年齢	平均 83歳	最低	74歳	最高	93歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	・名寄市立総合病院	・医療法人臨生会 吉田病院
---------	-----------	---------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

名寄市郊外の見晴らしの良い高台に開設されている、母体医療法人が運営する2ユニットのグループホームです。毎月、行事計画を話し合い、映画館や回転寿し、デパートの飲食店で一人ひとり好みの食事をするなど戸外に出かける機会を多くする取り組みが行われています。また、リビングでは、一人ひとりのペースを大切に、職員と一緒にゲームやカラオケ、カルタや習字、お化粧品や身だしなみ、お洒落をする等本人の希望、意向にそって楽しみながら過ごしている様子が伺えました。地域との連携では、町内会の草取りや定期総会等の行事参加や保育園児、高校生との交流等地元の人々との連携に努めています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、利用者の安全に対するリスクの軽減に関する課題が挙げられていましたが、施設長及び管理者、職員が共通認識のもと安全対策に取り組みられています。また、家族等への説明や同意を得た支援が行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全ての職員が自己評価を行うことで、外部評価の意義を理解し、日々の介護の新たな気づきや取り組みの改善の機会として具体的に職員間で話し合わせ、業務の見直しが行われ、ケアサービスの質の向上に利用されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回を目安に開催され、名寄市担当者や包括支援センター職員、家族、町内会役員等が参加して、消防法改正によるスプリンクラー設置の必要性について等具体的内容について話し合われています。また、ホームの活動や今後の取り組み内容について報告し、質疑応答されてケアサービスの質の向上に利用されていると共にそこでの意見を運営に反映される取り組みが行われています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族や来訪者等が意見や苦情を管理者、職員に言い表せるように玄関入り口付近に「意見箱」を設置して、その機会を設けています。また、来訪時には、要望や不安な点、相談等気軽に話し合える環境作りに取り組み、意見等があった場合には内容について話し合い、運営に反映されるよう努めています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) そよかぜ館「アネックス通信」を毎月発行して、地域の人たちにホームの取り組み状況や認知症の理解や啓発の為に町内会会館に掲示する等広報に取り組んでいます。また、町内会加入で花壇の「草取り」や「草刈り」等町内行事の参加や町内会の子供達との交流や地元の高中生、保育園児との交流等地域と連携した取り組みが実践されています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全ての職員で話し合っ、アネックス理念、介護理念、年間重点目標を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を達成する為に具体的な年間目標を掲げ、その実践に向けて日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	そよかぜ館「アネックス通信」を毎月発行して、認知症への理解や啓発の為に町内会館に掲示する等広報に取り組んでいる。また、町内会加入で花壇の「草取り」等町内行事の参加や町内会の子供達や地元の高校生、保育園児との交流等地域と連携した取り組みが実践されている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全ての職員が自己評価を行うことで、外部評価の意義を理解し、日々の介護の新たな気づきや取り組みの改善の機会として具体的に職員間で話し合わせ、業務の見直しが行われ、ケアサービスの質の向上に利用されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、年6回を目安に定期的開催されている。委員は、市担当者、利用者、家族、町内会役員、他施設の介護支援専門員、施設長、管理者及び職員で構成されスプリングラー設置等具体的に話し合われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>日常の業務を通じて名寄市、包括支援センターの指導・助言を受けながら情報交換が行われサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p><b>4. 理念を実践するための体制</b></p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>金銭管理は毎月領収書と共に使用状況が報告されている。また、家族等の来訪時には、日常生活の様子や健康状態等が報告されている。そよかぜ館「アネックス通信」を毎月発行して、職員の紹介や行事参加、日常生活の様子なども報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族や来訪者等が意見や苦情を管理者、職員に言い表せるように玄関入り口付近に「意見箱」を設置して、その機会を設けている。また、来訪時には、要望や不安な点、相談等気軽に話し合える環境作りを取り組み、運営に反映されるよう努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低く、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。また、代わる場合にはそよかぜ館「アネックス通信」で職員の紹介等行われている。</p>		<p>特筆すべき点として、家族や来訪者等に職員のその日の勤務者状況が分かるように掲示している。</p>


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員を段階に応じて育成するための計画をたて、介護や看護の内部研修や名寄市、包括支援センター、グループホーム連絡協議会等の外部研修参加を奨励している。また、研修後には参加者の報告会が行われ職員で共有する取り組みが行われている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会や同一地域の同業者と研修会や情報交換の場が設けられ、研修会等の活動を通じ、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、利用者・家族の見学等で職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、ゲームやカラオケ、草取りや草刈り、配膳や食事の後片付け等一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。また、化粧療法(化粧行動)が理論的に裏打ちされた中で実践されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を活用して、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、散歩やデパートでの外食、食事の準備や後片付け、金魚の世話やカルタ、大人のドリル等本人本位に検討している。また、食事のアンケートで嗜好の把握をしている。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言、カンファレンスで職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、外泊や外出、散歩やデパートでの外食等柔軟に支援している。また、看護師が常勤しており、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	常勤の利用者をよく知る看護職員や本人、家族が納得したかかりつけ医との連携で適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について指針が明確化され、できるだけ早い段階から本人・家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、職員間で共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	身体拘束廃止の取り組みや接遇マナーの研修参加が行われ、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	センター方式を利用して、一人ひとりのペースを大切にしながら、散歩や畑作業、雪祭り見物や回転寿し等の外食など本人の希望や意向に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、配膳や食事の準備、テーブル拭き等職員と一緒にしている。また、食事検討委員会で食事が楽しみなものになるよう利用者の食事アンケートを実施している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2~3回を目安に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式を利用して調理の準備や後片付け、テーブル拭きや食器拭き等の役割やカラオケやゲーム、花壇の手入れや畑作業、散歩やレストランでの外食等気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	理美容院や友人宅、図書館訪問への送迎や畑作業や野菜の収穫、散歩や花見、雪祭り見物やレストランでの外食等戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解している。また、玄関は、センサー設置などで外出が察知できるように取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>現在、スプリンクラーの設置工事が行われている。また、定期的な火災避難訓練の実施や救急救命、AEDの使用方法など実践されている。</p>		<p>今後は、スプリンクラー設置で新たな課題が出ているので、万が一に備えた課題の検討に期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士による指導・助言のもと栄養バランスや摂取カロリーに考慮された献立が支援されている。また、具体的な食事・水分摂取量が記録されている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ベランダから、周囲の新緑や紅葉が望めたり、敷地内の畑では野菜が作られ、季節感が感じられる。また、共用空間には、利用者の習字等の作品が飾られたり、行事参加の写真等が掲示され、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、観葉植物やテレビ、ソファ等使い慣れた家具などが持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。